

ふくい 市議会だより

No.202

平成28年8月10日発行
編集／発行
福井市議会だより編集委員会
福井市大手3丁目10番1号
TEL.0776-20-5506



議会報告会の様子(4月14日・中藤島公民館)

主な内容

- 議会報告会……………P2～P4
- 議会の構成……………P5
- 一般質問……………P8～P12

6月定例会は6月6日から29日までの24日間の会期で開かれました。
今定例会では、「平成28年度福井市一般会計補正予算」をはじめ、「福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について」など市長提出の議案12件、報告21件を審議した結果、議案はいずれも原案のとおり可決、報告は1件を承認、20件を受理しました。
また、請願・陳情については、今回提出された請願3件を審議した結果、いずれも不採択とすることに決定しました。
そのほか、市政に対する一般質問を20人の議員が行い、6月29日、予定した日程を全部終え閉会しました。

平成28年度福井市一般会計補正予算を可決

6月 定例会

今臨時会では、各常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任、福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員の選任、この国広域事務組合議会議員の選挙、鯖江広域衛生施設組合議会議員の選挙、福井県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行いました。
また、監査委員の選任など、市長提出の議案3件、報告2件を審議した結果、議案はいずれも同意、報告はいずれも承認し、同日閉会しました。

5月 臨時会

正・副議長など各役職を選出

5月臨時会は5月17日招集され、正・副議長の選挙を行った結果、議長に皆川信正議員、副議長に青木幹雄議員がそれぞれ当選しました。

議会報告会

4月5日から15日にかけて市内8会場で開催した議会報告会において、皆さんからいただいた市政や議会運営に関するご意見、ご質問等について、その一部を分野別に紹介します。

その他のご意見、ご質問等は福井市議会ホームページでご覧になれます。

日時	会場	参加人数
4月5日	東安居公民館	27人
4月7日	豊公民館	25人
4月7日	東藤島公民館	9人
4月12日	安居公民館	5人

日時	会場	参加人数
4月12日	国見公民館	19人
4月14日	中藤島公民館	112人
4月15日	日之出公民館	8人
4月15日	文殊公民館	43人

いただいたご意見、ご質問等について

総務委員会関係

会場	内容
東安居公民館	<p>質問 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられるが、若者の投票率向上のための取り組みは行っているか。</p> <p>回答 学校における啓発活動を進めている。また18歳になった際にメモリアルカードを発送して、投票することへの意識付けを行っている。議会として市独自の投票率向上の取り組みを行うように市の選挙管理委員会に働きかけている。</p>
豊公民館	<p>質問 中核市移行推進事業は必要なのか。他県の県庁所在地の状況はどうか。</p> <p>回答 中核市に移行するには、人口30万人以上が要件であったが20万人以上に緩和されており、福井市は平成31年4月に移行したいと考えている。金沢市、富山市も既に移行していて、他にも移行を表明している市がある中、福井市も中核市に移行することにより、市民生活が快適になるようにしていくことが大事であると考えている。</p>
東藤島公民館	<p>質問 公債費の増加について詳しく教えて欲しい。今後の市債残高はどうか。</p> <p>回答 以前借りた利率が高い市債を低い利率のものに借り換えるので、償還年限は伸びるが支払利息の減により返済額は減る。また、臨時財政対策債が増えているが、後年度に国が地方交付税で補填してくれる。</p> <p>再質問 それは国に都合がいい話に聞こえる。国の言いなりでは地方に借金が残ってしまうが、誰が責任を持つのか。</p> <p>回答 財政健全化計画では、臨時財政対策債を除いた市債残高は1,000億円を切るようになっていたができていない。東日本大震災等による公共施設の耐震化に取り組んだ影響であるが、減らしていく努力が必要である。</p> <p>再質問 臨時財政対策債以外の市債は減っていくのか、また、市債を減らす工夫が必要ではないか。企業誘致等により税収増を図るなどなんとか減らす努力をして欲しい。</p> <p>回答 税金から市債の返済をするので、市民のチェックが必要である。企業誘致については場所が問題で、国、県と足並みをそろえて取り組まなければならない。</p>
中藤島公民館	<p>質問 市債が右肩上がりに増えているが、減らしていかななくてはならないのではないかと。</p> <p>回答 福井市は平成31年度をめぐりに市債残高を減らしていこうとしている。議会としても同じように減らしていくことを提言している。市も金利の安いものに切り替えるなど努力している。国体などまだ持ち出しもあるが、税収が増える可能性もあると期待している。</p>

国見公民館	質問	地域おこし協力隊事業の予算772万円の中には給与も含まれるのか。
	回答	給与を含んでおり、越廼、殿下、国見3地区合わせた総額である。
	意見要望	3地区でこの予算額ならば、給与が十分足りていないのではないか、給与の予算がもっとあれば事業活動がしやすいのではないかとと思われる。
安居公民館	質問	地域おこし協力隊事業で、都市部の若者を中山間地域に受け入れるとなっているが、県外からは募集しないのか。
	回答	福井市内ではなく、県外からの募集による受け入れということである。

建設委員会関係

会場	内 容	
国見公民館	質問	高齢化が進み空き家が増えているが、空き家対策はどうなっているのか。
	回答	危険な特定空き家に関しては何度も権利者に勧告し、応じない場合は強制的に市が取り壊し、その費用を後日権利者に請求する。ただ実際に行政代執行した例はない。現状では50件ほどが勧告後に権利者自ら空き家を取り壊しており、市の補助を受けて取り壊した例もある。
	質問	まちなか住まい支援事業は、中心市街地の居住促進ばかりで、郊外地域からの人口流出につながるのではないのか。
	回答	まちなか住まい支援事業は国の中心市街地活性化の予算に市の予算を上乗せする形をとっている。
	意見要望	まちなかの地区の高齢化率が高くなっているため斬新なアイデアで若者を呼び込んでほしい。
文殊公民館	質問	北陸新幹線建設整備事業には沿線地域に対する環境整備があるとのことだが、文殊地区は対象に入っているのか。入っていないのであれば今後取り組む予定はあるのか。
	回答	現在の北陸新幹線建設整備事業は大部分が新幹線建設関係の予算であり、環境整備については今後本格的に取り組んでいくことになる。
	再質問	具体的にどのような環境整備になるのか。
	回答	まだ具体的なものはない。地元の要望を聞きながらの対応になる。
東藤島公民館	質問	北陸新幹線の開業前倒しについて、まだはっきりしていない。早くしないと石川県との格差が広がってしまうのではないのか。
	回答	北陸新幹線について福井開業前倒しに向けた国の方針が近いうちに出ることを待っている。
	質問	北陸新幹線の九頭竜川の工事の完了は何年頃になるのか。
	回答	平成34年度の北陸新幹線開通までには完了する。
	質問	下水道事業について以前から敷設の要望をしているが遅れている。早急に敷設できないのか。
	回答	平成32年度の下水道普及率100パーセントに向けて実施しているが進捗が遅れている。平成28年度に経営戦略を策定する中で目標年度を明らかにするとしている。早急な実施を強く求めているが、諸事情による若干の遅れはご理解願いたい。
豊公民館	意見要望	平成27年度から下水道を利用できると聞いていたが延び延びになっている。早くしてほしい。不公平を感じる。
	意見要望	NPO団体や公的活動に対するハピリンの会議室利用料の減免や会場費の助成を充実させてほしい。
安居公民館	意見要望	安居公民館前の道路は県道で、聖苑前の道路は市道になっているが、除雪のタイミングがずれていて、特に市道側が遅いため大変通行しにくくなっている。もう少し早くならないか。
	回答	県道と市道では、除雪の出動基準が違うので、時間にずれが生じる。また、市道は総延長が長いので、優先度の高いところ、例えば学校や病院などの周辺を先に行うことになるので、出動が遅くなる場所が出てくることもご理解願いたい。

教育民生委員会関係

会場	内 容
東安原公民館	<p>質問 国民健康保険に限らず介護保険においても資産割がある。二重に課税するのはおかしいのではないかと。</p> <p>回答 わずかではあるが改善している。議会としても改善に向けて働きかけているし、改めて議会の場において議論すべき課題であると考えている。</p>
文殊公民館	<p>質問 国民健康保険税の資産割が固定資産税と二重（重複）課税ではないのか。自治体の判断で国民健康保険税の資産割の算定をやめることができるのではないかと。議会で否決できたのではないかと。</p> <p>回答 国民健康保険税の資産割は減らす方向できており、長い目で減らしていくべきだろう。資産割の国民健康保険特別会計への収入が一定の割合である。漸次減らしていく方向ではないかと。</p>
豊公民館	<p>質問 木田、中藤、森田地区の放課後児童クラブの待機児童の解消はいつになるか。</p> <p>回答 平成27年度に全地区において希望者全員が入れるようになった。中藤地区についてもスペースが広がり待機児童は解消されていると認識している。</p> <p>質問 ごみ処理施設整備事業費として1,200万円計上されている。事業内容が新ごみ処理施設整備検討委員会の設置と整備計画等の策定とあるが、なぜこれだけの予算が必要になるのか。</p> <p>回答 大がかりな建設工事となる事もあり、外部機関に委託して進めていかなくてはならないことからこれだけのお金がかかると認識している。</p> <p>意見要望 これから民生委員は大事になる。交通費か何かの手当程度ではなく、民生委員の報酬をもっと引き上げるべき。やってもらうことや、権限もふやすべきではないかと。</p>
中藤島公民館	<p>質問 電力の自由化に伴い、学校の屋上などに太陽光発電を設置する等、行政としての取り組みはあるのか。</p> <p>回答 新しく建設している建物には設置しているが、既存の建物となると耐荷重の問題などからできないところが多い。</p>
東藤島公民館	<p>意見要望 クリーンセンターにおいて事業者から出る機密書類等が再生出来るようなシステムをつくるべきではないかと。先行自治体（京都、鹿児島等）を調査してはどうか。</p>

経済企業委員会関係

会場	内 容
豊公民館	<p>質問 企業が本社機能を福井に移したときの特典や移してもらうための有効な仕掛けはないのか。福井の安全面をPRすることも大切なのではないかと。</p> <p>回答 企業の意向を鑑みながら行っている。福井市も企業誘致に取り組んでおり、企業立地条例が改正され企業に対する助成金が以前より増えた。ただ、そのような方法での企業誘致が経済活性化に繋がるのかどうかの議論をしながら進めている。</p> <p>意見要望 八幡山、足羽山、兎越山の足羽三山は福井の宝である。桜、舗装、ガードレールの整備に加え、トイレが本当にきれいに清掃されていることに感謝している。</p>
東安原公民館	<p>質問 競輪行政について教えてほしい。</p> <p>回答 本場競輪だけではなく他の競輪場で行われているレースの場外販売も行って黒字運営に至っている。毎年1億円を市の予算に繰り入れており、競輪場が開設されて以降、総額で250億円以上を市の予算に繰り入れている。</p>
国見公民館	<p>質問 中心市街地の記事はよく出てくるが、越前海岸周辺の事業はあまり出てこない、なぜガラガラ山総合公園になったのか。交通量が過去に比べて半減している中、なぜ国見地区には行政の支援が弱いのか。</p> <p>回答 かつて隆盛を誇った水仙街道を復活させたい。点から線として越前海岸沿いの観光を整備したい。その一環として市長からガラガラ山総合公園再整備の提案があり、議会が承認した。</p> <p>意見要望 越廼地区を含め、利用しやすい地区となるために道路整備が急務ではないかと。生活道路としてだけではなく、観光施策として整備してほしい。</p>
東藤島公民館	<p>質問 農産物ブランド化はふくい南青山291等で既にブランド化に取り組まれていたと思うが、さらに何をするのか。</p> <p>回答 現在、一押し逸品等で取り組んでいるが、それらを売るための一層の取り組みが必要。例えば、金福すいかは生産量が圧倒的に少なく、東京や大阪など大都市での需要に応えられないため、認知されていない。このため生産量拡大に力を入れていく。さらに、PRも対象を絞り込んでしっかり取り組んでいく。</p> <p>意見要望 永平寺町は森ビル等と組んでブランド戦略を進めている。福井市も一層の取り組みを進めてほしい。</p>
文殊公民館	<p>質問 通学路になっている農道でも改修するには地元負担が発生している。安全で快適な生活道の整備を地元負担なしでしてもらえないかと。</p> <p>回答 一般生活道路として使っているものは農道であろうがしっかり整備するよう地元から要望してほしい。</p>

議会の構成

◆ 皆川 信正 議長



皆川議長は市議当選5回で、この間、副議長、建設、経済企業委員長のほか、議会運営委員長などを歴任しました。

【住所】
福井市花堂中2丁目28-26

◆ 青木 幹雄 副議長



青木副議長は市議当選4回で、この間、総務、建設、経済企業委員長のほか、議会運営委員長などを歴任しました。

【住所】
福井市市ノ瀬町21-18

福井市議会委員会委員一覧

(敬称略)

委員会名		委 員 名				
常 任 委 員 会	総務	◎片矢 修一 中村 綾菜	○福野 大輔 水島 秀晃	青木 幹雄 菅生 敬一	堀江 廣海	奥島 光晴
	建設	◎田中 義乃 石丸 浜夫	○近藤 實 玉村 正人	西村 公子 伊藤 洋一	見谷 喜代三	堀川 秀樹
	教育民生	◎谷本 忠士 泉 和弥	○瀧波 滋 藤田 諭	吉田 琴一 八田 一以	鈴木 正樹	島川 由美子
	経済企業	◎村田 耕一 今村 辰和	○池上 優徳 下畑 健二	加藤 貞信 後藤 裕幸	皆川 信正	野嶋 祐記
議会運営委員会	◎見谷 喜代三 下畑 健二	○藤田 諭 片矢 修一	堀川 秀樹 八田 一以	石丸 浜夫 池上 優徳	今村 辰和 瀧波 滋	
特別委員会	予算	◎泉 和弥 今村 辰和 後藤 裕幸	○下畑 健二 鈴木 正樹 池上 優徳	吉田 琴一 玉村 正人 瀧波 滋	石丸 浜夫 田中 義乃 菅生 敬一	野嶋 祐記 村田 耕一 福野 大輔

◎委員長 ○副委員長

議会選出の各役職一覧

(敬称略)

監査委員	堀川 秀樹 島川 由美子
福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員	皆川 信正 青木 幹雄 吉田 琴一 奥島 光晴 水島 秀晃
こしの国広域事務組合議会議員	石丸 浜夫 今村 辰和 村田 耕一
鯖江広域衛生施設組合議会議員	堀川 秀樹 伊藤 洋一 福野 大輔
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	皆川 信正 加藤 貞信 池上 優徳
農業委員会委員	谷本 忠士 藤田 諭
土地開発公社理事	皆川 信正 青木 幹雄 堀江 廣海 玉村 正人 瀧波 滋
都市計画審議会委員	田中 義乃 後藤 裕幸
民生委員推薦委員	下畑 健二
青少年問題協議会委員	島川 由美子
少年愛護センター運営委員会委員	野嶋 祐記 泉 和弥
社会教育委員	見谷 喜代三 中村 綾菜 近藤 實
通学区域審議会委員	西村 公子 青木 幹雄 八田 一以
学校給食運営委員会委員	鈴木 正樹 片矢 修一 菅生 敬一

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14～15頁に掲載しています。

5月臨時会

は、2,222億9,365万円となります。

人事案件

固定資産評価員

内田弥昭氏の辞任に伴い、後に稲津昌昭氏を選任することに同意しました。

監査委員

監査委員の欠員を補充するため、堀川秀樹氏と島川由美子氏を選任することに同意しました。

6月定例会

平成28年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で2億8,665万円を増額するもので、補正後の一般会計予算額は、1,125億9,865万円となります。

また、特別会計では、宅地造成特別会計で、2億1,000万円、企業会計では、下水道事業会計で2億5,200万円を増額し、全会計で補正後の予算額

○一般会計補正予算

永平寺町と連携し、観光地の魅力向上や観光資源の結びつきを強化するとともに、誘客や観光消費の拡大を図るための計画を策定し、広域的な周遊滞在型観光を進める。福井・永平寺周遊滞在型観光推進計画策定事業や、西墓地公園における法面表層崩壊箇所の復旧を行う墓地公園法面復旧事業、また、本市の魅力を分かりやすく表現するとともに、その魅力を活用し、U・Iターンなどを推進するための、「魅える化」プロジェクトなどに2億8,665万円を計上するものです。

条例

○福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、個人市民税における特定一般用医薬品等購入費を支払った場合

の医療費控除の特例の創設等をするとともに、固定資産税及び都市計画税における特例措置等の規程その他所要の規定の整備を行うものです。

○福井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

国が家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を一部改正したことに伴い、本市においても小規模保育事業A型及び保育所型事業所内保育事業所の設備の基準を変更し、また、職員配置に係る特例を定めるものです。

○福井市体育施設条例の一部改正について

利用者の利便性向上を目的に、会議室等の位置づけを変更し、新たに照明料金を設定するなど使用料等を変更するものです。

○福井市議会議員及び福井市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、福井市議会議員並びに福井市長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ポスター及び選挙運動用ビラの作成の公営に要する経費の額を改めるものです。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。(日程順に記載)

地域の活力創造対策特別委員会

《新幹線の用地取得の対象とならなかった残地の活用》

残地について様々な活用方法があることが地権者や地元住民には十分に知られていない現状では、残地はそのままの状態となり、有効に活用されないと考えられる。これに対し、どのように取り組むのか。

今後、地元協議等の機会があれば積極的に残地の活用方法を知らせていきたい。また、市ができる活用方法についても考えていきたい。

北陸新幹線に沿って整備される都市計画道路福井森田道路用地の残地についても北陸新幹線関連公共施設等整備事業を初めとする残地の活用例の対象となるのか。

都市計画道路福井森田道路は北陸新幹線と一体的に整備されるので対象となる。

《福井市中央卸売市場中長期プラン中間検証》

検証項目の「経営統合を推進するための研究」は

成果が上がらなかったとあるが、今後どのように取り組むのか。

市場全体の売上高が減ってきていることから、仲卸業者が合併等により経営基盤を強化していく必要性があるため、今後も仲卸業者に働きかけ

ていく。



県都の魅力創出対策特別委員会

《中央公園周辺再整備事業》

問 中央公園の掘削広場については、以前の計画から変更されているが、主な変更点はどこか。また、その理由は何か。

答 専門家や順化地区の住民の意見を踏まえ、イベントや子どもたちの遊び場等として使い勝手が良く、歴史を体感してもらう空間として、階段状の部分減らし、フラットな部分を広くとる変更を行った。また、広場から市役所地下への出入りについては、将来、市役所庁舎の方向性に合わせて検討することとし、その際不要な手戻りが生じないように、当面は土を盛った形にしておく。



中央公園周辺整備事業全体計画平面図

《県庁線》

問 県庁線の荷さばき場所と車止めについては、どのような整備方針か。また、それは地元の実業家等の意見を踏まえたものか。

答 荷さばき場所については、車道を幅員が異なる曲線形で整備することで、幅の広いところを利用してもらうこととし、車止めについては、イベント空間としても利用できるような脱着可能方式で設置する。また、地元の方とは県庁線準備委員会というまちづくり計画をつくる組織を設けており、歩行者優先の道路にするという事業計画を説明した上で、実施するものである。

総務委員会

《福井市議会議員及び福井市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正》

問 選挙運動用自動車の使用や、ポスター、ビラの作成に係る公費負担の限度額は、どのように決定したのか。

答 公職選挙法施行令の改正により引き上げられた国政選挙における選挙公営の限度額に準じてその額を決定した。

《福井市市税賦課徴収条例等の一部改正》

問 セルフメディケーション推進のための医療費控除の特例が創設され、スイッチOTC薬が対象になるとのことだが、スイッチOTC薬とはどのような薬か。

答 厚生労働省が示す成分が含まれているもので、医療用医薬品として使用されていたものが一般用医薬品として販売されるようになった薬である。

建設委員会

《墓地公園法面復旧事業》

問 足羽山の西墓地陥没事故によって大きな被害があったが、その後の取り組みはどうなっているのか。

答 墓参者や通行人の安全のため、現地にウエブカメラを設置し、公園課内において常に監視を行っている。また、1週間に1度は職員が西墓地のパトロールを行っており、今後もし引き続き取り組んでいく。

問 《えちぜん鉄道・福井鉄道相互乗り入れ関連施設整備事業》

問 田原町駅の多目的待合施設の内容や使用条件はどう考えているのか。

答 設備としては待合のため座れる場所と、簡単なコンサートなどができるような少し広い場所を備えたものを考えている。また、使用条件については、地元住民や鉄道事業者と協議し、検討していきたい。

経済企業委員会

《工事請負契約の締結について（福井競輪場中央スタンド棟耐震補強及び改修工事）》

問 工事期間中の競輪の開催予定は。

答 工事期間中も競輪を予定どおり開催する。そのため、無理のない運営ができるよう日程調整をしていく。

問 今回耐震補強をする中央スタンド以外の耐震の状況は。

答 福井競輪場で耐震診断を義務付けられている部分は中央スタンドの他にサイクルシアターと選手管理棟の2箇所であるが、サイクルシアターは昭和56年の建築基準法改正以降に建てられたため耐震診断の必要がなく、選手管理棟はすでに耐震補強をしている。

教育民生委員会

《工事請負契約の締結について（森田小学校校舎増築工事）》

問 工期が平成29年3月17日までになっているが、その間の授業への配慮はどうなっているのか。

答 工事に当たり授業に差し支えないように夏休みの時期を利用したり、児童の安全を確保できるような体制をとっていく。

問 今後校区内の児童数が予測よりも増えた場合の対策はどうするのか。

答 余裕教室の改修や、一時的なことであれば、プレハブ校舎の建設といった対応を検討していく。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、6月13日から15日までの3日間、20人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

<p>① 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 平成28年熊本地震と地域防災計画について</p> 	<p>② 野嶋 祐記 (志政会)</p> <p>1 福井駅西口広場について 2 ハピリン及びハピテラスのこれらについて 3 公職選挙法等の一部を改正する法律施行に伴う第24回参議院議員通常選挙における対応について</p>	<p>③ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <p>1 平成28年熊本地震から学ぶ本市の危機管理について 2 発達障害者支援法の改正における本市の施策について 3 ハピリンの今後の運営について</p>
<p>④ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 中核市移行への取り組みについて 2 地方版ハローワーク設置について 3 環境にやさしいまちづくりについて 4 小中一貫教育について</p>	<p>⑤ 堀江 廣海 (一真会)</p> <p>1 新しい時代の教育について 2 地域担当職員制度について</p>	<p>⑥ 藤田 諭 (志政会)</p> <p>1 「全国に誇れるふくい」の実現に向けた魅力の向上と発信について 2 福井駅周辺整備による交流人口の今後の動向について 3 学校教育について</p>
<p>⑦ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <p>1 第六次福井市総合計画の取り組みの進捗状況と評価、並びに第七次福井市総合計画の策定に向けた課題について 2 誤配や誤食による食物アレルギーの対応について 3 マイナンバーカードの交付状況と今後の対応について</p>	<p>⑧ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <p>1 平成28年熊本地震災害と災害対策の強化について 2 原発ゼロの実現と市の原発防災対策、自然再生エネルギー普及の取り組みについて 3 北陸新幹線延伸と在来線特急の存続について 4 全国学力調査について</p>	<p>⑨ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <p>1 地方自治と安保法制、自民党改憲案について 2 アベノミクスや消費税増税の本市への影響と対策について 3 保育の規制緩和と今求められる保育の質の向上について</p>
<p>⑩ 後藤 裕幸 (志政会)</p> <p>1 高齢者対策について 2 橋梁等の長寿命化対策について 3 町名・自治会名の表示状況について 4 国体施設等の整備状況とおもてなしの取り組みについて</p>	<p>⑪ 水島 秀晃 (志政会)</p> <p>1 福井市の文化政策について</p>	<p>⑫ 近藤 貴 (志政会)</p> <p>1 セーレンプラネットについて 2 ふるさと納税について 3 退職手当債、福井市の財政(地方債残高、債務負担行為額、積立金、プライマリーバランス)について 4 福井市職員が専門家であること、人事について 5 適切な結婚教育について</p>
<p>⑬ 奥島 光晴 (一真会)</p> <p>1 北陸新幹線について 2 教職員の人事評価について 3 幼児教育の重要性について</p>	<p>⑭ 瀧波 滋 (志政会)</p> <p>1 市民の山足羽三山の未来について 2 豊地区の遊休地の活用について</p>	<p>⑮ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 ふるさと納税について 2 本市の保育行政について 3 公民館事業を通じた地域愛の醸成について</p>
<p>⑯ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 平成28年熊本地震を受けての福井市の防災対策について 2 障害者差別解消法の運用について 3 北陸新幹線延伸の際の並行在来線について</p>	<p>⑰ 泉 和弥 (一真会)</p> <p>1 道づくりについて</p>	<p>⑱ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <p>1 女性の活躍推進について 2 おいしいふくい条例について</p>
<p>⑲ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 福井市の地方創生(交付金の獲得)について</p>	<p>⑳ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <p>1 本市の共生社会推進に向けたインクルージョンへの取り組みについて 2 省エネルギーを推進し、持続可能な社会を目指す取り組みについて 3 里山などの環境整備について</p>	

一般質問要旨



いけがみ まさのり

池上 優徳 議員

一真会

平成28年熊本地震と地域防災計画について

質問

本市の災害時に自力避難が難しいと思われる人は何人いると想定されるのか。福祉避難所について、施設数と受け入れ可能者数、開設の手順及び物資の備蓄状況は。また、今回の熊本地震を教訓に、避難所の設置や運営のあり方を含め地域防災計画へどのように反映していくのか。

回答

本市の避難行動要支援者数は約16,000人であり、福祉避難所の数は平成27年度末で81カ所、約700人の受け入れが可能である。開設については指定避難所で避難者の状況を確認し、協議の上で行い、物資は市の備蓄を活用する。地域防災計画については、平成28年熊本地震における課題と対応策について関係機関と協議を行い、より実効性の高いものへ見直しを図る。



のじま ゆうき

野嶋 祐記 議員

志政会

福井駅西口広場について

質問

福井駅西口広場が供用され、スムーズにバスや電車の乗り継ぎができるようになったが、路線バスの100円区間の利用状況は。相互乗り入れにおける信号や警報のトラブルの原因究明や対策は万全か。

回答

バス、電車等の公共交通機関のICカード型電子マネーの導入を本格的に検討すべきと考えるが市の考えは。

路線バスの100円区間の導入後、乗車人数が倍増した。相互乗り入れにおける信号や警報のトラブルは、その都度原因を究明し、対策している。また再発防止について、事業者に求めている。ICカードの導入については、コスト面等の課題もあるが、先行事例を参考にしながら研究していく。



かたや しゅういち

片矢 修一 議員

市民クラブ

平成28年熊本地震から学ぶ本市の危機管理について

質問

熊本地震では、支援物資が届くまで水と食糧がなく、大変苦労していた。本市では、総合防災訓練のときに、3日分の水、食糧を備蓄するよう、徹底すべきでは。福祉避難所は、拠点避難所と同じように開設し、人員も配置すべきでは。

回答

総合防災訓練のときに、全ての地区で、家庭で食糧を備蓄することの重要性を呼びかけるチラシを配布し、家庭備蓄について周知徹底する。福祉避難所については指定避難所で避難者の状況を確認した上で開設しているが、今後迅速な対応について検討する。また、必要に応じて市の職員を派遣し、福祉避難所の管理運営に当たる。



しもばた けんじ

下畑 健二 議員

公明党

市庁舎内ハローワーク設置について

質問

住民に身近な市役所にハローワーク機能を設置することにより、生活困窮者、若者、女性等に手厚い生活相談や職業紹介ができるかと期待されるが、設置に向けた労働局やハローワークとの協議や取り組みの内容はどのようなものか。

回答

本市にとっても、生活保護受給者を含む生活困窮者の自立に向けた就労支援は重要な課題であることから、庁舎内ハローワークを設置し、無料職業紹介と福祉支援業務をワンストップで行う一体的支援が必要だと考えている。そのため、本年、福井労働局の調査に対し、設置の意向を伝えており、厚生労働省にもその旨が報告されている。今後もし設置の早期実現に向け、引き続き取り組んでいく。



ほりえ ひろみ

堀江 廣海 議員

一真会

新しい時代の教育について

質問

本市は、社会教育、生涯学習の拠点として小学校区ごとに公民館を設置し、子供も大人も学べる体制を充実させている。このことは、学校と地域との相互協力、ネットワーク化を進めることによって、より一層子供も大人も学び合う体制が強化されると思うが、学校と公民館との連携についてどのように考えているのか。

回答

現在、本市の学校では地域に生きる学校づくり推進事業の中で家庭・地域・学校協議会を開き、公民館を含めた地域との連携を図っている。今後の学校と公民館の連携、協働については、学校がさらに多くの地域の人材を活用することに、双方方向の活動を一層充実させていくことが重要だと考えている。



ふじた さとし

藤田 諭 議員

志政会

福井駅周辺整備による交流人口の今後の動向について

質問

中心市街地における大型のハード事業は一段落となるが、今後のさらなる福井駅前の活性化に向けて、行政だけでなく、地域や関係団体と連携した「盛り上げ」が必要になると考えている。市の考えは。

回答

今後は、民間事業への支援が重要だと考えており、福井駅・城址周辺地区まちづくりガイドラインに沿った市街地再開発事業や優良建築物等整備事業による土地利用の共同化、また、空き店舗への開業に対する支援を行うことで商業機能等の集積を進める。

一方、福井市民間活力をいかにした県都の顔づくり事業補助金の活用により、民間団体や住民が主体のまちづくり活動を支援し、ハードとソフトの両面でにぎわい創出を図る。



よしだ きんいち

吉田 琴一 議員

市民クラブ

マイナンバーカードの交付状況と今後の対応について

質問

申請者に対するマイナンバーカード交付の進捗状況並びに臨時窓口での受付期間の予定は。また、カードの有効期限が近づいた時の周知方法は。

回答

マイナンバーカードの申請は平成28年5月末時点で15,125件で、住民登録人口に対する割合は、56.9%である。そのうち、カードの交付を受けた人数は7,488人である。また、現在臨時窓口では、二日当たり150人以上の利用者があり、混雑緩和のためにも、9月末頃まで継続する予定である。

また、カードの有効期限が近づいたときの周知方法については、まだ国から示されておらず、他自治体の動向も踏まえ、市民への確実な周知方法を考えていく。



にしむら きみこ

西村 公子 議員

日本共産党議員団

在来線特急の存続について

質問

北陸新幹線は乗り換えなしで大阪に乗り入れる計画だったが、敦賀駅開業を3年前倒したため、敦賀駅での乗り換えが必要になるとともに、料金も高くなり、利便性が低下するのではないか。国やJRに在来線特急の存続を要望するべきではないか。

回答

北陸新幹線金沢敦賀間の認可にあたり、国が示した着工5条件の一つである、並行在来線となるJR北陸本線をJR西日本から経営分離することについて、本市は平成24年に同意している。そのため当面敦賀駅での乗り換えが必要になるが、利便性が低下しないよう、国やJR西日本に要請を行っている。



すずき しょうじゆ

鈴木 正樹 議員

日本共産党議員団

保育士の待遇改善について

質問

福井県の全職種平均給与と保育士の平均給与には月額10万円の差がある。保育士の賃金アップを初めとする待遇改善が必要ではないか。

保育士の待遇改善が進むことで、年度途中の入所希望に対応できていないなどの問題の解決につながるのではないか。

回答

昨年も子ども・子育て支援新制度移行に伴い、保育士や教諭の処遇改善を進める目的で、毎月施設に支払う給付費の中に処遇改善等加算が盛り込まれた。本市でも、今年度から市単独補助金の体系を見直し、来年度に向けてさらなる改善を検討している。



かとう ひろゆき

後藤 裕幸 議員

志政会

高齢者対策について

質問

介護保険サービスを対象となる方々に広く利用していただきたいと思うが、市の考えは。

回答

デイサービスは生活支援や心身機能の維持だけでなく、レクリエーションを通じた利用者同士の交流や、家族の介護負担軽減などに大変有効であると認識している。

介護保険サービスは、介護が必要な方の心身や生活の状況に応じ、ケアマネジャーや事業所が、利用者や家族の意向を聞いて、その内容を決定しているため、本市では居宅介護支援事業所に対するケアプラン点検、介護サービス事業所に対する実地指導等を確実に、介護サービスが適切に提供されるよう指導していく。

福井市の文化政策について



みずしま ひであき

水島 秀晃 議員

志政会

質問

福井市民の文化活動が持続発展していくためには、行政が育成、支援し、市民活動が活発になることで、その気運が人を呼び込み、経済が発展していくことが大切であると考えるが、本市の文化政策の現状と課題は。

回答

市民が気軽に文化芸術に触れ、鑑賞し、発表できるような事業や子どもたちの創作活動の推進事業などを実施してきた。また、一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園などの文化遺産について保存し継承することを中心に施策を展開してきた。このように、これまでは施策の対象を主に市民を中心としており、文化施策で人を呼び込むといった視点が欠けていたことが課題と考える。

退職手当債及び福井市の財政について



こんどう みのる

近藤 實 議員

志政会

質問

福井市は過去10年間、退職金の支払いのため、退職手当債を発行してきた。現在の残高は70億円で、これまでの金利の合計は6億9,800万円であり問題だと考える。

また、本市の平成27年度のプライマリーバランスの目標は11億円の黒字だが結果は。

回答

退職手当債は団塊の世代の定年退職等に伴う退職手当の大幅増加への対処のために発行が認められている。定員管理・給与適正化計画による人件費削減効果により償還財源を生み出すこととされており、本市では平成18年度以降総額約107億円の発行に対し、人件費削減の効果は約151億円であり、償還財源は賄える。また、本市の平成27年度のプライマリーバランスは、約23億円の赤字となる見込みであり、目標達成は困難である。

幼児教育の重要性について



おくしま みつはる

奥島 光晴 議員

一真会

質問

福井県の小・中学生の学力、体力が全国トップレベルにあるのは、学校、地域、家庭の三位一体となった努力や、児童・生徒の素養が大きな要因で、その素養や人間性、人格の礎は幼児期に形成されると思われる。そこで私立幼稚園、保育園、認定こども園における園児の生活環境、教育環境のさらなる整備が必要と考えるが、市の所見は。

回答

安定した施設運営及び保護者が安心して子供を預けられる教育・保育環境の確保のため、国、県の補助に加え、市単独で施設運営費の補助を行っている。また、老朽施設の改修や認定こども園への移行に伴う施設整備等に対しても補助を行っている。

市民の足羽三山の未来について



たきなみ しげる

瀧波 滋 議員

志政会

質問

市民にとってなじみ深い足羽三山を、もつと市民に愛され親しまれる憩いの山とするために、眺望に係る施策や、ウオーキングマップ等の作成についての市の見解は。

回答

足羽三山の眺望について、足羽山は本年度策定中の足羽山魅力向上計画の中で眺望スポットを位置付け、平成29年度より眺望に支障がある樹木の剪定、伐採を行っていく。また、八幡山や兎越山は、展望台からの眺望の支障となる樹木の剪定、伐採について関係者と協議していく。また、足羽三山専用のウオーキングマップについては、健康づくりで足羽三山を利用している市民が多いことから、今後、足羽山魅力向上計画にあわせて作成していく。

本市の保育行政について



ふくの だいすけ

福野 大輔 議員

一真会

質問

本市の待機児童はゼロであるが、実態としては希望する保育園に子供を容易に預けることができない状況がある。

昨年度1年間の入園申し込み数に対して、入園に至らなかった人数とその割合は。また、希望する保育園に入園できるような対策を何か考えているのか。

回答

昨年度1年間の入園申し込み数は2,359人で、そのうち入園に至らなかった人数は134人で、その割合は5.7%である。

また、希望する保育園に入園できるように、私立幼稚園から認定こども園への移行を支援し、低年齢児を中心に受入枠を増やすとともに、保育士の処遇改善のために補助金体系を見直すなど、保育環境をさらに充実させていく。

小・中学生への防災教育について



すこう けいいち

菅生 敬一 議員

公明党

質問

平成16年の福井豪雨災害や、68年前の福井震災の記憶を風化させずに後世に伝えていくためには、小・中学生への防災教育が大切だと考えるが、本市の防災教育の現状は。

回答

本市の防災教育では、避難訓練を実施する際に、訓練前には机の下に身を隠すとともに身の回りにあるかばん等、頭を保護するなどの指導を行い、また、訓練後には自分の行動を振り返り学習する時間を設けるなど、児童・生徒が自主的に判断し、適切な行動がとれるよう指導している。
また、学級活動や総合的な学習の時間の中でも防災教育を取り入れ、避難方法について学んだり、災害発生時の対応を話し合うなど、日ごろから災害発生時にとるべき行動について確認している。

交差点の地点名表示板について



いずみ かずや

泉 和弥 議員

一真会

質問

本市への観光客、来訪者はレンタカーやマイカーでの移動が多い。

平成30年の福井国体に向け、道路の景観が統一され都市の景観が向上することを目的として、各交差点の信号機に交差点表示板を取り付ける取り組みをしてはどうか。

回答

平成30年の福井国体に向けて、まずは幹線道路から、地元の要望を広く取り入れるとともに、福井市を訪れる観光客に対し、分かりやすい道路となるよう、表示板の設置について検討していく。

女性の活躍推進について



なかむら あやな

中村 綾菜 議員

市民クラブ

質問

本年度から女性活躍推進法が施行され、本市でも女性活躍促進課ができた。女性の活躍をどんどん推進してほしいが、そのための女性の就職支援や働き方改善について、どのような取り組みをしていくのか。

回答

女性の求職者に対しては、就職支援セミナーを実施している。結婚や出産等により離職やパート勤務となった子育てママを対象に、講習などを行い再就職やキャリアアップに繋げる支援を行っている。
また、企業向けの支援としては、女性が働きやすい職場環境を整備するための補助制度を設けている。
今後、女性の活躍できる職場環境を整えるため、これらの制度の周知に努める。

地方創生交付金の獲得について



はった いちい

八田 一以 議員

一真会

質問

3月に国からの地方創生加速化交付金4,200万円を獲得できなかったが、6月補正予算「ふくい魅える化プロジェクト」6,000万円の財源、国の加速化交付金は是非とも獲得し、特に農業分野の施策を実施すべきではないか。

また、今年度の国の新規交付金、地方創生推進交付金の獲得についてどう考えているのか。

回答

「ふくい魅える化プロジェクト」の委託業者を選定する際に、農業に関する視点も構築しており、この視点からの提案についても期待しているところである。
地方創生推進交付金については、地方負担が必要なことや複数年度にまたがる事業を基本としていることから、より効果的な事業の絞り込みや組み立てが必要になると考えている。

本市の共生社会推進に向けたインクルージョンへの取り組みについて



むらた こういち

村田 耕一 議員

市民クラブ

質問

障害者差別解消法が施行されたが、市庁舎においても障害のある方が快適に過ごせるような環境整備が必要と考えるが、本市の取り組みは。

回答

本館及び別館の1階にそれぞれ多目的トイレを設置したり、段差のある出入口にはスロープを設けるなどバリアフリーへの対応に努めてきた。
しかし、本館と別館をつなぐ渡り廊下や各階トイレの出入口には段差があるため、現在行っている別館耐震改修工事にあわせて車椅子用スロープを新設するとともに、別館各階のトイレ出入口の段差を解消していく。また、別館2階に多目的トイレを新たに設置するなど、市庁舎を利用する全ての方が快適に利用できるような環境整備に努めていく。

予算特別委員会

各党派における主な質疑内容を紹介します。

一真会

今村 辰和 泉 和弥
田中 義乃 池上 優徳
福野 大輔

●指定避難所

問 乳幼児等や妊産婦のいる家族にとって一つの大きな避難所での生活は厳しいと考

答 私立幼稚園等との協定に
ついては、平成28年熊本地震の国の検証結果等を踏まえ検討していく。

●平成28年熊本地震への対応

問 熊本地震を本市の防災対策にどのように結び付けていくのか。

答 熊本地震では、指定避難所や福祉避難所への職員配置や物資搬送などの課題が浮き彫りになった。その点を踏ま



●ハピテラスを拠点としたごきわいの創出

問 JR福井駅前周辺の商店街が営業時間を延長する「夜ぶら」という事業を支援しているが、今後のさらなる支援策は考えているのか。

答 7月からは「夜ぶら」に合わせ金曜日の夜にすまいるバスを2便増便し、福井駅の最終バスの発車時刻を午後8時台まで延長することで、さらに回遊性を高めていきたいと考えている。

●災害後の福井市危機管理計画

問 避難所で問題となるプライバシーの確保には、問仕切りダンボールが有効だと考

答 避難所生活が長期化する



志政会

石丸 浜夫 野嶋 祐記
後藤 裕幸 瀧波 滋

●福井国体までの取り組み

問 福井国体における花いっぱい運動のようなおもてなしや歓迎の計画はあるか。

答 JR福井駅や競技会場周辺をきれいにするために花いっぱい運動やクリーンアップ運動を行うほか、選手や監督を激励するため、手作りののぼり旗を全ての競技会場に設置する。また、ウエルカムデコレーションとして、市民からの応援メッセージを貼り付けたボードや、市民の写真で作成したフォトモザイクアートを設置する。

計画

問 避難所で問題となるプライバシーの確保には、問仕切りダンボールが有効だと考

答 避難所生活が長期化する

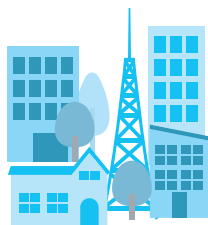
問 JR福井駅の観光案内所ではまちなか観光周遊バスの案内をしているが、今後は

くれる民間事業者と流通備蓄の協定を検討していきたい。

●福井市公共施設等総合管理計画

問 道路、公園、河川及び学校などの個別施設計画はどのような予定で作成していくのか。

答 個別施設計画については、昨年度策定した福井市公共施設等総合管理計画の基本的な考え方、また、各施設の所管省庁のインフラ長寿命化計画の考え方に基づいて、今後早急に策定に取り組んでいきたい。



市民クラブ

吉田 琴一 玉村 正人
村田 耕一

●まちなか散策のための公共交通機関の利用促進

問 まちなか観光周遊バスの周知策について。

答 JR福井駅の観光案内所ではまちなか観光周遊バスの案内をしているが、今後は

分散型自転車駐車場の設置に取り組んでいく。



福井駅コンコース内や、福井駅東口の京福バスケットセンターにも案内表示を設置していきたい。また、バス車両本体にまちなか観光周遊バスと表示する取り組みを考えているほか、時刻表や観光コースを載せるなどチラシの内容を充実させていく。

●本市の自転車利用推進に向けた取り組み

問 自転車駐車場整備の取り組み状況と今後の予定について。

答 本年4月にハピリン内に150台、新栄テラスに30台収容の自転車駐車場を設置した。また、鉄道駅などの交通結節点には、市内の鉄道駅45駅のうち24駅に本市が自転車駐車場を設置しており、合計3,481台収容できるようになっている。今後は、自転車や公共交通の利用を促進するための、鉄道駅における自転車駐車場の設置及び拡張、中心市街地の路上駐輪対策としての、

公明党

下畑 健一 菅生 敬一

●雨水対策

問 本市は国の局地的な豪雨対策である下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）で、浸水被害軽減を実証するソフト事業を行うとのことだが、今年度はどのような取り組みを行うのか。

答 自助支援のモデル地区として、足羽地区の二つの自治会にタブレットを8台配置し、降雨予測及び浸水予測情報を配信することで、住民に自主防災行動を促す取り組みを行う。具体的には、タブレットを配備された住民が地区住民に情報を伝達、周知する体制を自治会内部に作ってもらい、その体制が整った段階で訓練も行う。



日本共産党議員団

鈴木 正樹

●中央大通り南側の商業店舗の現状

問 ハピリン開業により、西武福井店とハピリンをつなぐ通りに人の流れが集中し、中央大通り南側の商業店舗などにとぎわいの面で差が生まれていると感じるが、市はどのように認識しているのか。

答 本市はアオッサから西武福井店を結ぶ通りをにぎわい軸と位置づけ、中心市街地の活性化に取り組んでおり、この軸上のにぎわいを周辺の商業地に波及させることが大事であると考えている。



議案等の審議結果

(5月臨時会)

議案番号	件名	審議結果		賛否の分かれた議案 (賛否状況は15頁に掲載)
第53号議案	固定資産評価員の選任について	5月17日	同意	
第54号議案	監査委員の選任について	〃	〃	
第55号議案	監査委員の選任について	〃	〃	
第1号報告	専決処分の承認を求めることについて（福井市市税賦課徴収条例の一部改正）	〃	承認	●
第2号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度福井市一般会計補正予算）	〃	〃	●

議案等の審議結果

(6月定例会)

議案番号	件名	審議結果		賛否の分かれた議案 (賛否状況は15頁に掲載)
第56号議案	平成28年度福井市一般会計補正予算	6月29日	原案可決	●
第57号議案	平成28年度福井市宅地造成特別会計補正予算	〃	〃	●
第58号議案	平成28年度福井市下水道事業会計補正予算	〃	〃	
第59号議案	福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について	〃	〃	●
第60号議案	福井市固定資産評価審査委員会に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	〃	〃	
第61号議案	福井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第62号議案	福井市体育施設条例の一部改正について	〃	〃	
第63号議案	福井市議会議員及び福井市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第64号議案	工事請負契約の締結について（福井競輪場中央スタンド棟耐震補強及び改修工事）	〃	〃	●
第65号議案	工事請負契約の締結について（森田小学校校舎増築工事）	〃	〃	
第66号議案	工事請負契約の締結について（中藤島公民館移転新築工事）	〃	〃	●
第67号議案	工事請負契約の締結について（わかばテニスコート改修工事）	〃	〃	
第3号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度福井市国民健康保険特別会計補正予算）	〃	承認	●
第4号報告	平成27年度福井市一般会計継続費の繰越しに関する報告について	6月6日	受理	
第5号報告	平成27年度福井市一般会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	

議会日誌（平成28年4～6月）

4月26日	教育民生委員会
4月27日	北信越市議会議長会評議員会（松本市）
	// 第91回定期総会（松本市） 総務・建設・経済企業委員会
28日	議会運営委員会
5月10日	福井市北陸新幹線建設促進協議会理事会・総会（福井市）
20日	北陸新幹線建設促進大会・同盟会総会（東京都）
24日	地域の活力創造対策特別委員会
25日	全国競輪主催地議会議長会近畿部会総会（岸和田市）
26日	県都の魅力創出対策特別委員会
27日	全員協議会、議会運営委員会
30日	全国市議会議長会第203回理事会（東京都）
31日	全国市議会議長会第92回定期総会（東京都）
6月 3日	全国競輪主催地議会議長会役員会（東京都）
	// 第118回定期総会（東京都）



5月臨時会

5月17日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議
-------	---------------------

6月定例会

6月 6日	本会議
7日	議会運営委員会
13日	本会議（一般質問）
14日	本会議（一般質問）
15日	本会議（一般質問）
16日	総務委員会、建設委員会
17日	教育民生委員会、経済企業委員会
22日	予算特別委員会
23日	予算特別委員会
24日	議会運営委員会
29日	教育民生委員会、議会運営委員会、本会議

編集後記

4月の熊本地震により被災された方の一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。本市議会では、震災、防災関連の一般質問が多くございました。今回のことも一つの契機として福井市は災害に強いまちを目指していきます。

また、本年度より議会報告会が再開され本紙面では特集を組みましたがいかがでしたでしょうか。次回開催時はぜひ足をお運びください。（池上・福野）

福井市議会だより編集委員

委員長 玉村 正人
副委員長 菅生 敬一

委員

西村 公子、村田 耕一
後藤 裕幸、池上 優徳
福野 大輔、近藤 寛

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回（3・6・9・12月）開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

中継する会議

インターネット
中継を実施
しています

- ・本会議
- ・各常任委員会
- ・各特別委員会



福井市議会では、より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、**YouTube（ユーチューブ）のインターネットストリーミングサービス**を利用した録画放送の配信を行っています。

傍聴に来られない人も、会議の映像をご覧になれます。

※インターネット中継は、福井市議会ホームページからご覧いただけます。なお、この中継は、福井市議会の公式記録ではありません。

次回は
9月定例会
です。

（日程は
ホームページで
掲載中です）

**傍聴して
みませんか**

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

- 本会議**（席数：91席 車イス用：6席）
- 常任委員会** 総務・建設・教育民生・経済企業
- 議会運営委員会**
- 特別委員会** 予算
- 議員全員協議会**



お問い合わせ ☎0776-20-5506 議会事務局 庶務課